



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう

2023年 6月16日朝刊



フジの花に関するアンケート調査を行う深尾賢志さん(中央)と田中友美子さん(右)4月、藤枝市の蓮華寺池公園



包括連携協定を結ぶ藤枝市と静岡大は、フジの花の新たな品種開発に向け共同研究に取り組んでいる。開花時期の性質を利用し、フジを楽しめる期間を拡大することで交流人口の増加につなげる。市の事業「食と農のアンテナエリア形成」の一環で2022年度から始まり、フジに関する基礎調査や蓮華寺池公園でのアンケートなどを踏まえ、25年度中の新品种の登録を目指す。

記事を読んで、問いに答えましょう。

①静岡大学と藤枝市がフジの花の新たな品種開発に向けて共同研究に取り組んでいるのは、なぜか。次の語句を必ず使って説明しなさい。

< 交流人口 >

②藤枝市の蓮華寺池公園でフジに関するアンケートをとった際にどのような意見があったのか。

③あなたが住んでいる地域で、藤枝市の事業の一つである「食と農のアンテナエリア」のような地域の交流人口を増加させる計画案の例を説明しなさい。

藤枝発展 藤花と共に

見頃と交流人口 拡大へ

市と静岡大 新品种研究

研究しているのは同大農学部付属地域フィールド科学教育研究センターの八幡昌紀准教授(45)と富永寛好助教(38)のゼミで学ぶ学生。藤枝市仮宿地区を拠点とする同大の農場「藤枝フィールド」内のヒニールハウスで、約700個体のフジの種子繁殖や、フジの枝を使った挿木繁殖などを通じて生育調査を行っている。22年度は蓮華寺池公園でフジを管理する地元団体「藤育会」の協力を得て、フジの開花時期や花序、小花、小葉などの形質を調べた。4月はこのまでの研究結果の報告を兼ねて、同公園の来場者に理想とするフジの見頃の時期や、鑑賞ポイント、新品种に期待する性質などをアンケートで聞き取った。計6日間で210人分のサンプルが集まり、

「新しい香りや色を見たい」「開花時期を遅らせることができるのか」など意見が寄せられたという。今後はアンケート結果を踏まえ、フジの育種を進める。同大大学院1年の深尾賢志さん(24)は「一般の方は自分と違う視点を持っていて面白い。藤枝はフジの街というイメージを全国に広めたい」と研究への意欲を示し、同大農学部4年の田中友美子さん(21)は「藤枝ならではのフジを改良したい」と意気込んだ。

品種改良後は藤枝にちなんだ名称で登録し、蓮華寺池公園や道の駅などに植栽する予定。市企業立地戦略課の担当者は「藤枝にしかない新しいフジを開発して人を呼び込みたい」と期待した。

(藤枝支局・青木功太)

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤 大介 (静岡聖光学院中学校・高校 教諭) (中学校~高校/社会、総合)



Newspaper in Education

解答例

静岡新聞で学ぼう

2023年 6月16日朝刊



フジの花に関するアンケート調査を行う深尾賢志さん(中央)と田中友美子さん(右)4月、藤枝市の蓮華寺池公園



包括連携協定を結ぶ藤枝市と静岡大は、フジの花の新たな品種開発に向け共同研究に取り組んでいる。開花時期の性質を利用し、フジを楽しめる期間を拡大することで交流人口の増加につなげる。市の事業「食と農のアンテナエリア形成」の一環で2022年度から始まり、フジに関する基礎調査や蓮華寺池公園でのアンケートなどを踏まえ、25年度中の新品種の登録を目指す。

記事を読んで、問いに答えましょう。

①静岡大学と藤枝市がフジの花の新たな品種開発に向けて共同研究に取り組んでいるのは、なぜか。次の語句を必ず使って説明しなさい。

< 交流人口 >

例 フジの花の開花時期の性質を利用し、フジを楽しめる期間を拡大することで交流人口の増加にもつなげて藤枝がフジの街というイメージを全国に広めるため。

②藤枝市の蓮華寺池公園でフジに関するアンケートをとった際にどのような意見があったのか。

例 フジの新しい香りや色を見たいという意見や開花時期を遅らせることができるのかという意見。

③あなたが住んでいる地域で、藤枝市の事業の一つである「食と農のアンテナエリア」のような地域の交流人口を増加させる計画案の例を説明しなさい。

例 掛川市で進められているオリーブ産地化計画について、遠州地域を含めて広げ、主要な農作物であるお茶とオリーブの複合的な魅力を、大学と共同研究も進めながら高めていくこと。

藤枝発展 藤花と共に

見頃と交流人口 拡大へ

研究しているのは同大農学部付属地域フィールド科学教育研究センターの八幡昌紀准教授(45)と富永晃好助教(38)のゼミで学ぶ学生。藤枝市仮宿地区を拠点とする同大の農場「藤枝フィールド」内のヒニールハウスで、約700個体のフジの種子繁殖や、フジの枝を使った挿木繁殖などを通じて生育調査を行っている。22年度は蓮華寺池公園でフジを管理する地元団体「藤育会」の協力を得て、フジの開花時期や花序、小花、小葉などの形質を調べた。4月はいくつかの研究成果の報告を兼ねて、同公園の来場者に理想とするフジの見頃の時期や、鑑賞ポイント、新品種に期待する性質などをアンケートで聞き取った。計6日間で210人分のサンプルが集まり、

市と静岡大新品種研究

「新しい香りや色を見たい」「開花時期を遅らせることができるのか」など意見が寄せられたという。今後はアンケート結果を踏まえ、フジの育種を進める。同大大学院1年の深尾賢志さん(24)は「一般の方は自分と違う視点を持っていて面白い。藤枝はフジの街というイメージを全国に広めたい」と研究への意欲を示し、同大農学部4年の田中友美子さん(21)は「藤枝ならではのフジを改良したい」と意気込んだ。品種改良後は藤枝にちなんだ名称で登録し、蓮華寺池公園や道の駅などに植栽する予定。市企業立地戦略課の担当者は「藤枝にしかない新しいフジを開発して人を呼び込みたい」と期待した。(藤枝支局・青木功太)

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤 大介 (静岡聖光学院中学校・高校 教諭) (中学校~高校/社会、総合)